

広島県告示第498号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項に規定する特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成28年8月4日

広島県知事 湯 崎 英 彦

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	広島県竹原市忠海中町一丁目1番25号 アヲハタ株式会社 代表取締役社長 野澤 栄一
工場又は事業場の所在地及び名称	広島県竹原市竹原町1678番地の13 アヲハタ株式会社 竹原工場

2 申請の内容

4-イ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する原料処理施設3基及び4-ニ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する湯煮施設1基を廃止後、4-イ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する原料処理施設3基及び4-ロ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する洗浄施設1基を設置する。また、4-イ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する原料処理施設2基、74 特定事業場から排出される水の処理施設1基及び汚水等処理施設2基の使用の方法を変更する。さらに、排水口1ヶ所における排出水の汚染状態及び量を変更する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

(その1) 4-イ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する原料処理施設3基 廃止

(その2) 4-ニ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する湯煮施設1基 廃止

(その3) 新設

種	類	4-イ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する原料処理施設 (果実加工品真空式レオニーダー⑭)		
能	力	600 L/基		
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに		
	工事完成予定年月日	工事着手当日		
	使用開始予定年月日	完成後直ちに		
使	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	7時から16時, 9時間 (なし)		
	項	目	通常	最大
用 の 方 法	排出される 汚水等の 状態	水素イオン濃度 (水素指数)	4.5	5.5
		化学的酸素要求量	1,100	1,200
		浮遊物質	10	20
		窒素含有量	75	95
		燐含有量	7	10
法	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)	20	20	
	汚水等の排出先	共同排水処理施設		

(その4) 新設

種	類	4-イ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する原料処理施設 (フルーツプレパレーション多機能ニーダーΣ⑬⑭, 2基分)	
能	力	530 L	
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	工事着手当日	
	使用開始予定年月日	完成後直ちに	

使用 方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		7時から16時, 9時間 (なし)		
	項 目		通 常	最 大	
	排 出 水 等 の 量 の 状 態	水素イオン濃度 (水素指数)	(単位: mg/L)	4.5	8
		化学的酸素要求量		1,000	1,200
		浮遊物質		30	60
		窒素含有量		100	120
		リン含有量		10	12
		n-ヘキサン抽出物質		2,500	2,800
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		44	44	
	汚水等の排出先		共同排水処理施設		

(その5) 新設

種 類	4-ロ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する洗浄施設 (フルーツプレパレーション容器洗浄機 ^⑮)	
能 力	55 L/min/回	
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	工事着手当日
	使用開始予定年月日	完成後直ちに

使用 方法 の 状 態	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		7時から16時, 4時間 (なし)		
	項 目		通 常	最 大	
	排 出 水 等 の 量	水素イオン濃度 (水素指数)		4.5	8
		(単位: mg/L)	化学的酸素要求量	1,000	1,200
			浮遊物質	30	60
			窒素含有量	100	120
			リン含有量	10	12
			n-ヘキサン抽出物質	2,500	2,800
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		5	5	
汚水等の排出先		共同排水処理施設			

(その6) 変更

		変更前	変更後
種	類	4-イ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する原料処理施設 (果実加工品球形ニーダー⑨)	4-イ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する原料処理施設 (レトルトパウチ球形ニーダー⑩)
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	工事着手当日	
	使用開始予定年月日	工事完成後直ちに	

使用の方法	項目		通常	最大	通常	最大	
	排出水の 状態	水素イオン濃度 (水素指数)		4.5	5.5	4.5	6
		(単位： mg/L)	化学的酸素要求量	1,100	1,200	2,100	2,400
			浮遊物質	10	20	30	60
			窒素含有量	75	90	95	110
			n-ヘキサン抽出物質	0	0	684	792
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		25	25	20	20		

(その7) 変更

			変更前		変更後		
種類			4-イ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する原料処理施設 (フルーツプレパレーションバキュームニーダー ^⑫)				
工期等	工事着手予定年月日		許可後直ちに				
	工事完成予定年月日		工事着手当日				
	使用開始予定年月日		工事完成後直ちに				
使用の方法	項目		通常	最大	通常	最大	
	排出水の 状態	化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	1,400	1,600	1,000	1,200
		窒素含有量		75	90	100	120
		燐含有量		7	10	10	12

(その8) 変更

				変更前		変更後	
種 類				74 特定事業場から排出される水の処理施設（共同排水処理施設74）			
工期等	工事着手予定年月日			許可後直ちに			
	工事完成予定年月日			工事着手当日			
	使用開始予定年月日			工事完成後直ちに			
使用の方法	項 目			通常	最大	通常	最大
	排出される状態	化学的酸素要求量	(単位：mg/L)	90	90	74	90
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)			669	672	668	671

(2) 汚水等の処理の方法

(その1) 変更

				変更前		変更後	
種 類				共同排水処理施設74			
工期等	工事着手予定年月日			許可後直ちに			
	工事完成予定年月日			工事着手後1ヶ月			
	使用開始予定年月日			完成後直ちに			

使用 方法	汚水等の 処理前 の汚染 状況	項 目	通常		最大		通常		最大		
			処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	
		生物学的酸素要求量	(単位： mg/L)	1,900	90	1,900	90	1,860	74	1,900	90
		化学的酸素要求量		1,300	90	1,500	90	1,272	74	1,478	90
		窒素含有量		83	55	97	65	85	55	100	65
		n - ヘキサン 抽出物質		215	3	248	60	383	3	436	60
		1日当たりの排出量 (単位：m ³ /日)		669	669	672	672	668	668	671	671

(その2) 変更

			変更前				変更後				
種 類			滅菌器								
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日		許可後直ちに								
	工 事 完 成 予 定 年 月 日		工事着手後1ヶ月								
	使 用 開 始 予 定 年 月 日		完成後直ちに								
使用 方法	汚水等の 処理前 の汚染 状況	項 目	通常		最大		通常		最大		
			処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	
		生物学的酸素要求量	(単位： mg/L)	50	50	75	75	43	43	75	75
		化学的酸素要求量		43	43	63	63	37	37	63	63
		1日当たりの排出量 (単位：m ³ /日)		2,009	2,009	2,012	2,012	2,008	2,008	2,011	2,011

(3) 排出水の汚染状態

変更

		変更前		変更後		
排水口名	項目	通常	最大	通常	最大	
排水口	生物学的酸素要求量	(単位： mg/L)	50	75	43	75
	化学的酸素要求量		43	63	37	63
	汚水等の量（単位：m ³ /日）	2,009	2,012	2,008	2,011	

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成28年8月4日から平成28年8月25日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県西部東厚生環境事務所環境管理課並びに竹原市まちづくり推進課